

令和3年(2021年)11月1日発行

日本工業大学×川口信用金庫 トップ対談 産学連携で挑む ～地域に貢献するSDGsへの取り組み～

SDGs推進にあたり 最初に行った取り組み 成田 教員の研究内容や学生活動をあらためて洗い出し、SDGsの物差しに当て嵌めつつ「見える化する作業を行った。教員は自身の研究とSDGsの関係について、17のゴールからさらに掘り下げて169のターゲットまで視野を広げていき、繋がりを見つけてこ

木村 当金庫も2005年、環境保全と地域経済発展の両立を目指し、ISO14001を認証取得した。当金庫の成り立ちや活動がSDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に通じる。2018年にSDGs委員会を発足。2020年のSDGs宣言以降、各課題解決に取り組んでいる。

SDGs活動参加の経緯と体制づくり 成田 2001年のISO14001認証取得以来20年にわたり環境推進活動を継続し、エコ大学ランキング全国1位など学外から高い評価をいただいていた。積み重ねた実績を時代に合わせてSDGsという切り口で発信する必要から昨年10月、SDGs委員会を立ち上げ、教職員から学生まで柔軟に参加できる体制を整えた。

本学と川口信用金庫(埼玉県川口市)は長年にわたる産学連携を推進してきた。9月10日、両組織のトップがSDGsの視点から環境保全、社会貢献、教育改革等をテーマに意見交換を行った。



日本工業大学 学長 成田 健一

ものづくりで社会を創る。専門力を社会に活かす技術者を育てていくことが本学の使命。

木村 宣言を契機としてこの1年で職員のSDGsに対する認知度は格段に高まった。取引先企業でもSDGsが企業活動における重要な柱と位置づけられている。SDGsの諸問題は他人事ではなく自分自身の課題であるという考え方が急速に

木村 宣言を契機としてこの1年で職員のSDGsに対する認知度は格段に高まった。取引先企業でもSDGsが企業活動における重要な柱と位置づけられている。SDGsの諸問題は他人事ではなく自分自身の課題であるという考え方が急速に

木村 宣言を契機としてこの1年で職員のSDGsに対する認知度は格段に高まった。取引先企業でもSDGsが企業活動における重要な柱と位置づけられている。SDGsの諸問題は他人事ではなく自分自身の課題であるという考え方が急速に



川口信用金庫 理事長 木村 幹雄

木村 コロナ禍、顧客からの相談は複雑化、専門化し、従来の金融機関の枠組みでは対応しきれない。貴学をはじめ教育機関や公的・民間支援機関と力を合わせて地域の課題解決を図り、結果としてSDGsの取り組みを

木村 本金庫の設立は関東大震災からの铸物業界の復興を目的としており、設立時からSDGsの理念を体現している。取引先企業の課題解決を支援することで地域にも金庫にも新しい価値が生まれ、地方創生に繋がるものと考えている。

木村 本学はSDGs達成目標である2030年には経済の新たな担い手となる。将来彼らが地域社会をリードしていく人材となる

成田 ESG投資が注目される中、金融機関はSDGsを推進する企業に対して規模を問わず積極的に投資するスタンスに変わり、アイデア次第で中小企業も元気になる時代になってきた。そうした企業が情報発信を積極的に続けていけば、学生がその活動に注目し、将来の活躍の場として目を向け、大きなモチベーションを持つことに繋がる。本学としても、お互いに情報を共有しながら、幅広く社会に貢献していきたい。

成田 今年の春からスタートした中長期計画では、学生に「身に付けた専門力を社会に活かす経験をさせる」ことを推進している。学生が自分の専門力を活かして解決方法を考え、試行錯誤し、社会からフィードバックを受け、最終的な課題解決に結びつける経験を通じて社会に必要な人材として活躍してくれるだろう。これが、地域の困っている人を「誰一人取り

成田 今年の春からスタートした中長期計画では、学生に「身に付けた専門力を社会に活かす経験をさせる」ことを推進している。学生が自分の専門力を活かして解決方法を考え、試行錯誤し、社会からフィードバックを受け、最終的な課題解決に結びつける経験を通じて社会に必要な人材として活躍してくれるだろう。これが、地域の困っている人を「誰一人取り

成田 今年の春からスタートした中長期計画では、学生に「身に付けた専門力を社会に活かす経験をさせる」ことを推進している。学生が自分の専門力を活かして解決方法を考え、試行錯誤し、社会からフィードバックを受け、最終的な課題解決に結びつける経験を通じて社会に必要な人材として活躍してくれるだろう。これが、地域の困っている人を「誰一人取り

成田 ESG投資が注目される中、金融機関はSDGsを推進する企業に対して規模を問わず積極的に投資するスタンスに変わり、アイデア次第で中小企業も元気になる時代になってきた。そうした企業が情報発信を積極的に続けていけば、学生がその活動に注目し、将来の活躍の場として目を向け、大きなモチベーションを持つことに繋がる。本学としても、お互いに情報を共有しながら、幅広く社会に貢献していきたい。

成田 今年の春からスタートした中長期計画では、学生に「身に付けた専門力を社会に活かす経験をさせる」ことを推進している。学生が自分の専門力を活かして解決方法を考え、試行錯誤し、社会からフィードバックを受け、最終的な課題解決に結びつける経験を通じて社会に必要な人材として活躍してくれるだろう。これが、地域の困っている人を「誰一人取り

成田 今年の春からスタートした中長期計画では、学生に「身に付けた専門力を社会に活かす経験をさせる」ことを推進している。学生が自分の専門力を活かして解決方法を考え、試行錯誤し、社会からフィードバックを受け、最終的な課題解決に結びつける経験を通じて社会に必要な人材として活躍してくれるだろう。これが、地域の困っている人を「誰一人取り

成田 ESG投資が注目される中、金融機関はSDGsを推進する企業に対して規模を問わず積極的に投資するスタンスに変わり、アイデア次第で中小企業も元気になる時代になってきた。そうした企業が情報発信を積極的に続けていけば、学生がその活動に注目し、将来の活躍の場として目を向け、大きなモチベーションを持つことに繋がる。本学としても、お互いに情報を共有しながら、幅広く社会に貢献していきたい。

成田 ESG投資が注目される中、金融機関はSDGsを推進する企業に対して規模を問わず積極的に投資するスタンスに変わり、アイデア次第で中小企業も元気になる時代になってきた。そうした企業が情報発信を積極的に続けていけば、学生がその活動に注目し、将来の活躍の場として目を向け、大きなモチベーションを持つことに繋がる。本学としても、お互いに情報を共有しながら、幅広く社会に貢献していきたい。



対談は埼玉キャンパス14号館で行われた

成田 今の時代、自分が作った製品が社会で使われたとき何が起るのかを意識しなければならぬ。高品質な製品を安価に作れば良いというだけでなく、その製品を通してどのような社会を創るのか、これからの技術者はそうした発想が求められている。社会のトレンドオフの関係を注いでいくことが、SDGsの観点から大学が行うべき教育として最も重要だ。そうした意味から、寄附講座「創業の基礎」では1学年からSDGs経営の視点が学べるというところで、大きな可能性を感じている。

成田 今の時代、自分が作った製品が社会で使われたとき何が起るのかを意識しなければならぬ。高品質な製品を安価に作れば良いというだけでなく、その製品を通してどのような社会を創るのか、これからの技術者はそうした発想が求められている。社会のトレンドオフの関係を注いでいくことが、SDGsの観点から大学が行うべき教育として最も重要だ。そうした意味から、寄附講座「創業の基礎」では1学年からSDGs経営の視点が学べるというところで、大きな可能性を感じている。

成田 ESG投資が注目される中、金融機関はSDGsを推進する企業に対して規模を問わず積極的に投資するスタンスに変わり、アイデア次第で中小企業も元気になる時代になってきた。そうした企業が情報発信を積極的に続けていけば、学生がその活動に注目し、将来の活躍の場として目を向け、大きなモチベーションを持つことに繋がる。本学としても、お互いに情報を共有しながら、幅広く社会に貢献していきたい。

日本工業大学 2022年度入試日程

Table with columns for exam type (e.g., 一般選抜入試, 共通テスト利用入試), dates, and locations. Includes details for various departments like Mechanical Engineering and Information Systems.

※ 全ての入試において、インターネットからの出願です。本学HPからアクセスしてください。
※ 各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」を確認してください。
皆さんのチャレンジを待っています。
【一般推薦入試(公募制)、専門高校入試(B工業科)】
<第1期>
出願期間: 11/1(月)~11/15(月)
web受付開始日10/25(月)
試験日と試験会場: 11/20(土)本学
合格発表日: 12/1(水)
<第2期>
出願期間: 12/1(水)~12/10(金)
web受付開始日11/22(月)
試験日と試験会場: 12/18(土)本学
合格発表日: 12/24(金)
入試に関する説明や対策講座(動画)をWEBオープンキャンパスに掲載しています!
お問い合わせ先 入試室 電話: 0120-250-267

日本工業大学大学院 社会人特別選抜
◆大学院工学研究科
博士前期課程・博士後期課程
*環境共生システム学専攻
*機械システム工学専攻
*電子情報メディア工学専攻
*建築デザイン学専攻
■2022年度 入試日程
日程
出願期間 面接試験 合格発表 手続締切
二次募集 2022年2月7日~2月16日 2月24日 3月4日 2022年3月10日
お問い合わせ先: 教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL https://www.nit.ac.jp

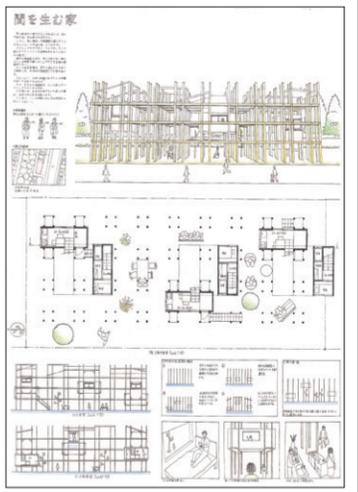
掲載写真については、撮影時のマスクを外しています

第35回日本工業大学建築設計競技

全国から49校128作品「3軒のお一人さまハウス」

【審査委員長の講話】

「3軒のお一人さまハウス」のキーワードは、「関係性」と「想像力」と言えます。具体的には2つの視点を読み解いて、設計して欲しいと考えました。一つ目は数字に着目する必要があります。つまり、「一人」と「3軒」です。家族あるいはパートナーで住む場合は共同生活者が二人以上になります。つまり、他者との関係性を考える必要がある一方、一人の空間（お一人さま）は共同生活者である他者との関係性を考える必要が無いということです。また、生活空間にとって機能は重要ですが、個人と個人の関係性から解放されることにより、デザインの自由度は格段に増します。機能の無い空間をつくることだって可能です。二つ目の「3軒」は3世帯（3人）の「関係性」をデザインすることです。具体的には、距離感（間）あるいは広さ、3軒の窓の位置などの関係をデザインすることです。「間」という言葉は我が国においては、様々な生活や場面で使われています。建築的には距離を縮めたり、伸ばしたり、あるいはレベル差の操作によって「遠いけれど近い」あるいは「近いけれど遠い」と感じる関係性を構築することが可能です。



1等作品

新型コロナ禍の中、おそらくほとんどの学校では対面授業からリモート授業に代わり、指導教員の先生方との交流が希薄になったと推察します。そうした状況下であるのと、今回の課題は少々、難しいテーマかなと思いましたが、挑戦していただいた49校、128案の応募があったことは、大変、勇気づけられ、また嬉しく思いました。

石田敏明（前橋工科大学名誉教授・神奈川大学客員教授）

入賞者

○印は共同作品の代表者

審査結果	氏 名	学校名	審査結果	氏 名	学校名
1等	神田 遼平	静岡県立浜松工業高等学校	奨励賞	伊藤 ヒカル	大阪市立工芸高等学校
2等	寺内 慎之介	長野県長野工業高等学校	奨励賞	高橋 翔	神戸市立科学技術高等学校
3等	長谷川 代羽	三重県立四日市工業高等学校	奨励賞	狩野 奈々夏	群馬県立前橋工業高等学校
審査員賞 (石田敏明)	工藤 純乃	兵庫県立兵庫工業高等学校	奨励賞	矢野 優我	埼玉県立熊谷工業高等学校
審査員賞 (小川次郎)	赤坂 彪真	福島県立福島工業高等学校	奨励賞	渡邊 伶菜	福島県立福島工業高等学校
審査員賞 (足立真)	○白川 小百合 浅岡 寛菜 安田 有伽	富山県立富山工業高等学校	奨励賞	○福本 七海 濱田 光	高知県立高知工業高等学校
佳作	山川 維謙	長野県長野工業高等学校	奨励賞	武本 流碧	岡山県立津山工業高等学校
佳作	松浦 旭花	福島県立福島工業高等学校	奨励賞	高木 蒼	岡山県立津山工業高等学校
佳作	大谷 康祐	三重県立伊賀白鳳高等学校	奨励賞	吉田 ひかり	静岡県立科学技術高等学校
佳作	○上田 涼乃 宮川 瑠唯	兵庫県立兵庫工業高等学校	奨励賞	大石 優羽	静岡県立科学技術高等学校
佳作	小山 夢翔	岡山県立津山工業高等学校	奨励賞	相澤 亜美	静岡県立浜松工業高等学校
佳作	出平 和也	岡山県立津山工業高等学校	奨励賞	笠原 唯良	群馬県立桐生工業高等学校
佳作	石倉 太郎	群馬県立桐生工業高等学校	奨励賞	竹内 美衣風	群馬県立桐生工業高等学校
奨励賞	野条 琴美	大阪市立工芸高等学校	奨励学校賞	※応募多数校	大阪市立工芸高等学校 福島県立福島工業高等学校 岡山県立津山工業高等学校

日本の弱みは強みに変わる

専門職大学院だより

大学院技術経営研究科・教授 弓削 徹

いま被災三県の事業所は、どうなっているのか。ていねいに取材したと報告を復興庁の委員会で聞くことができた。正直なところ、驚いた。いまや復興はおろか、日本の最先端をいく技術を磨いている企業が自白押しなのである。「もう助成金はもらわない」と宣言する経営者すらあるという。不幸なことに日本は災害大国。しかし、その弱みを強みに変えるビジネスの進展に目と耳が釘付けになった。

ある会社は災害時の救助、被害状況の調査に航空技術とドローンを活用する。また復旧や仮設住宅の建設技術にも、当地企業ならではの知見が光る。あるいは、原発の廃炉作業を請け負ううちに、飛躍的に技術開発が進んでしまったロボットメーカーもある。人口流出が進む同地ゆえ、重作業や介護などへのロボット活用も地を足をつけて進められている。「中小製造業は、弱み

を強みに転換しよう」と、日頃から声を発してはいるが、それが容易ではないことは承知している。むしろ大手企業の方がターゲット市場を絞り込んだり、多能工を育成したり、助成金を活用したりと抜かりがない。そんな環境にあって「弱みしかない」被災地でこそ、逆転の発想に至らざるを得なかったのかと思うと、つい頭を垂れてしまう。中にはインドネシアなどの災害復旧・調査の案件を受注している企業もある。彼らは世界市場に向けて、日本ブランドとして評価され、代表する技術を研ぎ澄ませているのだ。

それでも、三県を含む東北地方には控えめな県民性のイメージがある。もっと要領よく、とは言わないが、もう少しマーケティング的な戦い方を取り入れることができたかどうか。いや、そうした知見の共有を私たちがもっとしなければいけない。弱みを強みに。日本はその弱みには事欠かない。資源は乏しく、次世代エネルギーへの転換も喫緊の課題。少子化高齢化も他国に先駆けて進む。このように、被災地に対して私たちが抱くべきは同情ではない。ときに教えを乞い、ときに協業して技術立国たるべきこの小国の弱みを強みに変え、ともに価値を生んでいくとする気概なのだ。

専門職大学院オープンキャンパス

2021 **12/11(土)** 2022 **1/22(土)**

説明会、パネルディスカッション、模擬授業、キャンパスツアー等を実施予定

※状況により日程、内容を変更する場合があります

TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

政府は、2023年3月卒業・修了予定者の就職採用活動の日程を「3月広報活動開始」、「6月採用活動開始」とする現行ルールの維持を決めている。しかし、実際は採用直結型インターンシップや年内から選考が開始する早期選考など、通常の採用活動とは別のカたちで進み6月以前に多くの学生が内定を得ている現実がある。このような実態に合わせ、秋学期から学部3年生と大学院1年生を対象とした「就職支援ガイダンス」を実施している。

就職支援情報

秋学期からの就職活動の重要性

主な内容は、企業研究の仕方や履歴書の書き方、そして面接対策である。企業からの声かけに、いつでも対応出来るようにプログラムを組んでいる。その中でも、例年9月下旬から開始する「ゼミ別就職支援講座ガイダンス（全員面談）」では、これから実施する就職支援行事を確認し、出席することの重要性を理解するとともに、今後利用する「就職システム」の活用方法の再確認を行う。さらに、本番に向かって一緒に助け合うこととなる配属ゼミの仲間などとともに、就職支援課の職員と顔合わせをすることで一体感を高め、就職活動は一人で行うのではなく、大学のサポートを得ながら進めるものという認識を深めてもらうためのものである。さらに、大手企業の早期採用を見込んだ就職イベントとして、100社以上の企業を大学に招き「業界・業種セミナー」を11月6日と13日に実施する。本セミナーは、①企業について理解する、②働くイメージを描けるようになる、③コミュニケーションの重要性を感じ取るなど、学生にとってのメリットが多く、就職解禁前に一足早く採用担当者や接点できる重要なイベントである。このように、就職支援課では就活環境の変化に即応しながら、内定への道案内を続けている。



就職支援ガイダンス

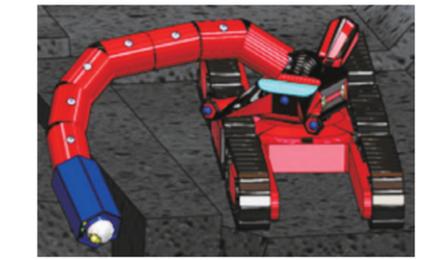
NIT SDGs PRESS

全国学生清掃週間 NSCWeek開催

全国の学生が海洋プラスチック問題についての知識を習得し、実際に海岸や河川の清掃を行うことで課題解決に貢献することを目的とした活動です。本学の学生環境推進委員会（愛称：e-にこっと）と新潟環境ネットワーク（N-econet）の学生達25名は9月12日、本学をメイン会場にリモートで勉強会を開催。翌週には海と川でのプラごみ収集内容と水質調査結果の違いや

NITプロダクトデザインコンテスト2021

内容一新で、多くの高校生がチャレンジ可能に



オリジナルアイデア部門最優秀賞 「工場や危険地帯で動く自立・遠隔操作型ロボット」



自由部門優秀賞 「黒クモ-未来型歩行ロボット」

2009年から開催の「3D-CADプロダクトデザインコンテスト」は12年が経過し、プロダクトデザインやデジタル設計の環境は大きく変わった。現在は3Dプリンタが比較的安価に購入でき、プロレベルの3Dモデリングソフトも無料で入手できる。時代の変化を反映し、今年度よりコンテストを一新した。

従来の提出形態に近い3Dモデリング部門（CADデータと図面で応募する部門）に加え、より多くの高校生がチャレンジしやすいよう、CAD不使用でも応募可能な2部門、3Dプリンタの造形物で競う1部門を新設。コロナ禍で作品制作がままならない状況であったが、多数の力作が集まった。

審査結果

各賞	氏名(代表者)	高校名
オリジナルアイデア部門		
最優秀賞	永松文治	福岡県立八女工業高等学校
特別賞	竹田知紗	—
自由部門		
優秀賞	川島樹	宮城県気仙沼市立高等学校
優秀賞	中島遼	群馬県立藤岡工業高等学校
佳作	小野寺利矩	宮城県気仙沼市立高等学校
佳作	奥田涼介	島根県立松江工業高等学校
3Dプリンタ造形部門		
特別賞	渡邊達仁,他5名	岐阜県立岐南工業高等学校
佳作	奥田琉太郎,他4名	岐阜県立岐南工業高等学校
佳作	大庭優太,他3名	島根県立松江工業高等学校

各賞	氏名(代表者)	高校名
3Dモデリング部門		
優秀賞	飯田友真	長野県岡谷工業高等学校
優秀賞	小山雄矢	茨城県つくば市立高等学校
特別賞	坂根育実	長野県岡谷工業高等学校
特別賞	植松佑斗	長野県岡谷工業高等学校
佳作	柳澤航太,他2名	長野県松本工業高等学校
佳作	大庭優太,他3名	島根県立松江工業高等学校

各賞	高校名
学校奨励賞	宮城県気仙沼市立高等学校
	長野県松本工業高等学校
	群馬県立前橋工業高等学校
	島根県立出雲工業高等学校
	島根県立松江工業高等学校

さくらサイエンスプログラム 日本語を学ぶインドの学生が 情報系教員とオンライン交流

6月7日から9日にかけて、本学は国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が所管する「さくらサイエンスプログラム」のオンライン交流を、インド共和国南部のタミル・ナードゥ州に所在するM. Kumarasamy College of Engineering (エム・クマラサイエンス工科大学) MKCCEとの間で実施した。



さくらサイエンスプログラムは、アジアの若者を日本へ招聘し、科学技術に触れる体験を創出する事業。昨年度、本学はMKCEとの交流計画をJSTより採択されたが、コロナ禍により対面形式の交流が困難となり、今年度はJSTより代替オンライン交流の支援を受け実施に至った。

最終日にはMKCEのアショク理事長より今回のオンライン交流実施への謝意と、今後も研究面における交流継続の提案があり、本学の参加者一同も賛同してオンライン交流を盛会裏に終えた。

夏休みの子供向け体験教室を実施

小中高校の児童・生徒と保護者を対象としたものづくり体験教室が夏休み期間中に開催され、学部および共通教育学群の教員と学生が指導にあたった。理科や工業技術への興味喚起を目的とした講義、実験、実習、製作などバラエティに富んだプログラムが用意された。参加した子供たちにとっては、夏休みの自由研究のテーマとして最適であり、大学キャンパスで大学教員から指導を受けられる貴重な機会となった。



化学・環境・バイオサイエンススクール



親子ものづくり教室



エンジョイ！夏の学び場



夏休み！大学生とあそぼう！

イベント名称	主な内容	実施日	参加数
化学・環境・バイオサイエンススクール	化学・環境・バイオに関する実験の体験	7/28(水)	20名
中学生科学教室	ペンデュラムウェブの制作	7/31(土)	19名
親子ものづくり教室(2部制)	二足歩行ロボットの製作など4テーマ	8/7(土)	35組 70名
関東地区リフレッシュ理科教室	面白実験実演と体験、理科工作(一部遠隔)	8/7(土)	15組
エンジョイ！夏の学び場(春日部)	ホバークラフト工作など3テーマ	8/13(金)~15(日)	78名
夏休み！大学生とあそぼう！(宮代町)	スライム作りなど	8/18(水)・8/19(木)	52名
夏休み理科実験教室(宮代町)	ボールと風船の浮遊実験など	8/24(火)~26(木)	160名

利根川強化堤防森づくりボランティア 草刈り作業を通じて 環境問題を身近に体験



長年続けてきたこのボランティア活動について、学生環境推進委員会委員長の香山慶介さん(情報メディア工学科3年)は「この活動は実際に木の手入れや除草作業を行い、環境問題に取り組む企画の1つです。2014年の植樹以降、年々順調に木が育っているのは小さな行動の積み重ねの成果だと感じています」と感想を述べた。

本学学生環境推進委員会は2014年から、利根川の堤防強化を目的として植えられたクヌギやナラなどの苗木の生長を促すための草刈りボランティアを実施している。今年8月27日に2回目となる草刈りが実施された。

第54期決算・第55期予算 日本工業大学の財務状況

事務局長の集約も完了し、より効率的なワンストップサービスが実現できた。これに併せて本館1階のエントランスホール、廊下、男子トイレのリニューアル工事を実施した。

○コロナ禍の影響に伴い感染対策を重点的に対応してきた。その中でも大きな対応として、遠隔授業実施に伴い、学生の学修環境を整えて頂くための緊急支援として在籍者休学者を除くを対象に一人当たり一律5万円より進めていた本館大学より進めていた本館大学

(別表1) 資金収支計算書 単位: 千円

科目	予算	決算	差異
収入の部			
学生生徒等納付金収入	5,892,426	5,984,818	△ 92,392
手数料収入	66,450	94,638	△ 28,188
寄付金収入	71,300	100,052	△ 28,752
補助金収入	451,000	737,648	△ 286,648
付随事業・収益事業収入	57,390	77,402	△ 20,012
受取利息・配当金収入	102,035	107,436	△ 5,401
資産売却収入			
雑収入	141,759	132,062	9,697
借入金等収入			
前受金収入	2,209,500	1,445,639	763,861
その他の収入	882,549	122,192	760,357
資金収支調整勘定	△ 2,131,596	△ 2,269,985	138,389
前年度繰越支払資金	4,904,110	4,904,110	
収入の部合計	12,646,923	11,436,011	1,210,912
支出の部			
人件費支出	3,160,424	3,016,276	144,148
教育研究費支出	2,083,945	2,006,233	77,712
管理経費支出	1,021,074	887,147	133,927
借入金等利息支出	32,757	32,756	1
借入金等返済支出	284,090	284,090	
施設関係支出	275,000	241,074	33,926
設備関係支出	329,384	213,993	115,391
資産運用支出	419,500	528,757	△ 109,257
その他の支出	548,807	409,315	139,492
予備費	100,000		100,000
資金支出調整勘定	△ 22,115	△ 155,269	133,153
翌年度繰越支払資金	4,414,058	3,971,640	442,418
支出の部合計	12,646,923	11,436,011	1,210,912

(別表4) 資金収支予算書 単位: 千円

科目	2021 (R3)	2020 (R2)	増減
収入の部			
学生生徒等納付金収入	5,879,031	5,892,426	△ 13,395
手数料収入	102,510	66,450	36,060
寄付金収入	71,800	71,300	500
補助金収入	716,000	451,000	265,000
付随事業・収益事業収入	47,890	57,390	△ 9,500
受取利息・配当金収入	102,035	102,035	
資産売却収入			
雑収入	125,755	141,759	△ 16,004
借入金等収入			
前受金収入	2,155,500	2,209,500	△ 54,000
その他の収入	851,832	882,549	△ 30,717
資金収支調整勘定	△ 1,445,639	△ 2,131,596	685,956
前年度繰越支払資金	3,971,640	4,904,110	△ 932,470
収入の部合計	12,578,354	12,646,923	△ 68,569
支出の部			
人件費支出	3,169,475	3,160,424	9,051
教育研究費支出	1,729,900	2,083,945	△ 354,045
管理経費支出	657,300	1,021,074	△ 363,774
借入金等利息支出	35,409	32,757	2,652
借入金等返済支出	225,650	284,090	△ 58,440
施設関係支出	250,000	275,000	△ 25,000
設備関係支出	223,372	329,384	△ 106,012
資産運用支出	485,000	419,500	65,500
その他の支出	574,256	548,807	25,449
(予備費)	100,000		100,000
資金支出調整勘定	△ 16,216	△ 22,115	5,899
翌年度繰越支払資金	5,144,207	4,414,058	730,150
支出の部合計	12,578,354	12,646,923	△ 68,569

(別表5) 事業活動収支計算書の主要項目の分析表

主要項目の分析比率(%)	2020 (R2)	2019 (H31)	増減
補助金/事業活動収入	10.2%	7.9%	2.2%
人件費/経常収入	41.8%	41.6%	0.2%
教育研究経費/経常収入	44.2%	39.8%	4.4%
管理経費/経常収入	14.3%	11.1%	3.1%
借入金等利息/経常収入	0.5%	0.5%	0.0%
人件費/学生生徒等納付金	50.4%	49.4%	1.1%

(別表3) 貸借対照表 単位: 千円

科目	資産の部		増減
	2020 (R2)	2019 (H31)	
固定資産	48,944,141	49,295,266	△ 351,125
有形固定資産	23,623,596	24,463,508	△ 839,912
特定資産	25,277,605	24,765,332	512,272
その他の固定資産	42,941	66,425	△ 23,484
流動資産	4,122,662	5,025,108	△ 902,447
合計	53,066,802	54,320,374	△ 1,253,571
負債の部			
固定負債	5,049,843	5,361,565	△ 311,722
流動負債	2,445,728	3,076,458	△ 630,730
合計	7,495,571	8,438,023	△ 942,451
純資産の部			
基本金	45,972,091	45,555,122	416,969
翌年度繰越収支差額	△ 400,860	327,229	△ 728,089
合計	45,571,231	45,882,351	△ 311,120
負債及び純資産の部合計	53,066,802	54,320,374	△ 1,253,571

2021年度は、コロナ禍の影響を大きく受けた一年となったが、引き続き大学は学生の皆様が一日も早く正常なキャンパスライフが出来るよう、安全面の徹底や教育環境の充実を図る。そのためには、関係各位のご理解が不可欠であり、引き続きご支援を賜るようお願い申し上げます。(財務部)

(別表2) 事業活動収支計算書 単位: 千円

科目	収入の部		差異
	予算	決算	
学生生徒等納付金	5,892,426	5,984,818	△ 92,392
手数料	66,450	94,638	△ 28,188
寄付金	53,300	99,897	△ 46,597
経常費等補助金	451,000	737,648	△ 286,648
付随事業収入	57,390	77,402	△ 20,012
雑収入	141,759	132,179	9,580
教育活動収入計	6,662,325	7,126,581	△ 464,256
科目	予算	決算	差異
人件費	3,160,424	3,018,471	141,953
教育研究経費	3,143,945	3,196,463	△ 52,518
管理経費	1,164,074	1,030,961	133,113
徴収不能額等			
教育活動支出計	7,468,443	7,245,895	222,548
教育活動収支差額	△ 806,118	△ 119,315	△ 686,803
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	102,035	99,812	2,223
その他の教育活動外収入			
教育活動外収入計	102,035	99,812	2,223
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	32,757	32,756	1
借入金等返済外支出	275,650	269,342	6,308
教育活動外支出計	308,407	302,098	6,309
教育活動外収支差額	△ 206,372	△ 202,286	△ 4,086
経常収支差額	△ 1,012,490	△ 321,601	△ 690,889
科目	予算	決算	差異
資産売却			
その他の特別収入	18,000	22,366	△ 4,366
特別収入計	18,000	22,366	△ 4,366
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	30,000	11,885	18,115
その他の特別支出			
特別支出計	30,000	11,885	18,115
特別収支差額	△ 12,000	10,481	△ 22,481
(予備費)	100,000		100,000
基本金組入前当年度収支差額	△ 924,490	△ 311,120	△ 613,370
基本金組入額合計	△ 565,000	△ 416,969	△ 148,031
当年度収支差額	△ 1,489,490	△ 728,089	△ 761,401
前年度繰越収支差額	327,229	327,229	
基本金取崩額			
翌年度繰越収支差額	△ 1,162,261	△ 400,860	△ 761,401
(参考)			
事業活動収入計	6,782,360	7,248,758	△ 466,398
事業活動支出計	7,906,850	7,559,878	346,972
経常収入(教育活動収入計+教育活動外収入計)	6,764,360	7,226,392	△ 462,032

(別表4) 貸借対照表 単位: 千円

科目	資産の部		増減
	2020 (R2)	2019 (H31)	
固定資産	48,944,141	49,295,266	△ 351,125
有形固定資産	23,623,596	24,463,508	△ 839,912
特定資産	25,277,605	24,765,332	512,272
その他の固定資産	42,941	66,425	△ 23,484
流動資産	4,122,662	5,025,108	△ 902,447
合計	53,066,802	54,320,374	△ 1,253,571
負債の部			
固定負債	5,049,843	5,361,565	△ 311,722
流動負債	2,445,728	3,076,458	△ 630,730
合計	7,495,571	8,438,023	△ 942,451
純資産の部			
基本金	45,972,091	45,555,122	416,969
翌年度繰越収支差額	△ 400,860	327,229	△ 728,089
合計	45,571,231	45,882,351	△ 311,120
負債及び純資産の部合計	53,066,802	54,320,374	△ 1,253,571

2021年度は、コロナ禍の影響を大きく受けた一年となったが、引き続き大学は学生の皆様が一日も早く正常なキャンパスライフが出来るよう、安全面の徹底や教育環境の充実を図る。そのためには、関係各位のご理解が不可欠であり、引き続きご支援を賜るようお願い申し上げます。(財務部)

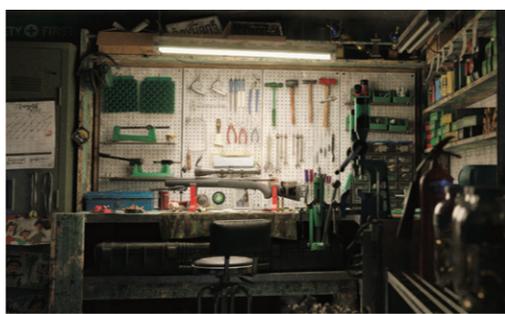
2020年度に本学が行った主な事業等は次の通り。
○学生サービスの向上を目的として2019年度より進めていた本館大学
2020年度に本学が行った主な事業等は次の通り。
○学生サービスの向上を目的として2019年度より進めていた本館大学
○コロナ禍の影響に伴い感染対策を重点的に対応してきた。その中でも大きな対応として、遠隔授業実施に伴い、学生の学修環境を整えて頂くための緊急支援として在籍者休学者を除くを対象に一人当たり一律5万円より進めていた本館大学より進めていた本館大学
○コロナ禍の影響に伴い感染対策を重点的に対応してきた。その中でも大きな対応として、遠隔授業実施に伴い、学生の学修環境を整えて頂くための緊急支援として在籍者休学者を除くを対象に一人当たり一律5万円より進めていた本館大学より進めていた本館大学
○コロナ禍の影響に伴い感染対策を重点的に対応してきた。その中でも大きな対応として、遠隔授業実施に伴い、学生の学修環境を整えて頂くための緊急支援として在籍者休学者を除くを対象に一人当たり一律5万円より進めていた本館大学より進めていた本館大学

作業場をリアルに表現 CGコンテスト優秀賞二位

情報メディア工学科3年の佐藤駿平さんが7月9日、CG WORLD主催の学生CGコンテスト「W H O S ' N E X T ?」で優秀賞第一位を受賞した。

本コンテストのテーマは「3DCGを用いた静止画作品。国内外のアーティスト24名によって審査が行われ、過去最多185点の応募作品の中から第一位に選ばれた。

受賞作品名は「クリーニング」



作品「クリーニング」(部分拡大)

で、射撃競技者の作業場をコンセプトに制作された。作品内の主人公の人物を連想させる道具や絵を取り入れて制作したことで、リアリティが増した。さらにCGの構図、テクス

建築学科建築コース(箕輪研究室)4年生のチームが7月17日、日本建築学会主催「学生サマーセミナー2021」の優秀賞を受賞した。

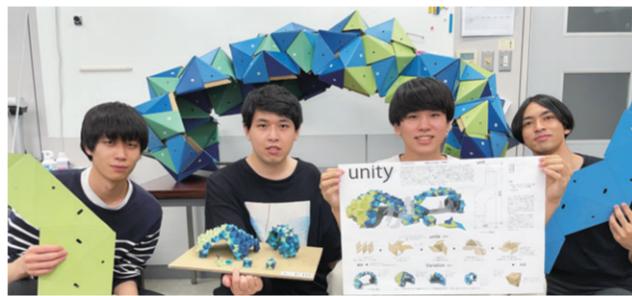
本セミナーは作品制作を通じてモノづくりの楽しさ、面白さを体感することを目的としている。今年のテーマは「集積あるいは変化するストラク

立体物の組合せアート 日本建築学会優秀賞

チュラル・アート。複数の立体物の組み合わせによって空間・形態・構造を融合させる芸術作品を募った。手に持てる程度の玩具的なものから、人間が中に入れるほどの構造物まで、多彩な作品が全国から集まった。

本学チームの受賞作品名は「unity」。ユニット折り紙を参考に、1つのユニットを複数組み合わせることで様々な形状の構造体を作ることができ、小さな形から大きな

受賞に際し「コンテストを通して3DCGのモデリング技術、表現力の経験を積むことができた。今後も人の心を動かせるような作品を作りたい」とコメントしている。



「unity」の受賞作品

電子情報通信学会 最多発表賞

電気電子通信工学科の平栗健史教授が8月3日、電子情報通信学会のコミュニケーションシンポジウム研究会において最多発表賞を受賞した。

電子情報通信学会は研究者・技術者によって構成された電子・情報・通信・エレクトロニクス分野を担う日本最大の学会である。同学会の研究会において平栗教授は、過去10年間にわたって最も



平栗健史教授が最多発表賞を受賞した。

な空間構造まで遊び感覚でユニークなデザインが表現でき、誰もがものづくりを楽しめることをコンセプトとした。

リーダーの齋藤大樹さんは「研究室の仲間や先生の協力に感謝している。改めてチームワークの大切さを実感することができた。今回の経験を無駄にせず、今後もチャレンジを続けたい」と抱負を語っている。

新型コロナウイルスに関わる 学内対応と地域支援活動

9月21日から秋学期がスタートした。一部の教養科目を除いて対面授業が本格的に再開されたことから、キャンパス内では多くの学生が行き交う

感染対策については手指消毒の徹底、ソーシャルディスタンスの確保、食事時の会話禁止といった基本的な対策が継続されている。このうちマスクについては、ウレタン製や布製マスクの感染防止効果が低いことから、不織布製の着用が強く推奨された。また、



市民の希望を聞きながら、学生が予約作業を代行

6・7月の延べ3日、各日とも学生1名が事前PCR検査を受けたうえで予約申請会場に赴任。スマートフォンやパソコン操作が苦手な高齢者に対し、希望日時を確認しながらタブレットを用いて予約代行作業を行った。市民からは大変好評であった。

学生自治会主催のイベント

夏祭

【体育会本部主催】

8月1日、5号館を会場として第49回夏祭りが開催された。コロナ禍、例年とは趣向を変え、体育系・文化系クラブや委員会による1・2年生の入部勧誘を目的として催され17団体が参加した。5号館大教室ではメインイベントとなる音楽団体によるライブが開催された。



※両イベントとも感染対策を徹底したうえで実施されました。

体育祭

【体育祭実行委員会主催】

10月2日、台風一過の秋空の下、グラウンドにおいて体育祭が開催された。学生同士の親睦を目的として毎年実施されている。学生は部活やサークル、委員会ごとのチームに分かれ、玉入れやリレーなどの4種目で競い、お互いに交流を深めた。



ダイヤモンド合成の研究 最優秀論文賞

機械システム工学専攻博士後期課程2年(飯塚研究室)の大島龍司さんが8月6日、MIRAI(先進的製造研究学会)主催の第14回MIRAI微細加工・グリーンテックノロジー会議において最優秀論文賞を受賞した。受賞論文名は「硼素化合物含有ダイヤモンドの合成と評価」。

本研究は長岡技術科学大学との共同研究で、ダ



大島龍司さんが最優秀論文賞を受賞した。

イヤモンド合成時に硼素またはその化合物を添加することで、硼素化合物含有ダイヤモンドの合成に成功し、研磨材料特性、結晶特性を明らかにした。従来のダイヤモンドに比較して耐熱特性が約300度向上し、1000度の高温下でもほとんど酸化されないことを示し、次世代の新しいダイヤモンドとしての可能性が評価された。

今回の研究を研削研磨加工用砥粒に応用することで、革新的なダイヤモンド研削材が実現し、次世代の工業用ダイヤモンド砥粒として、多方面での実用が期待される。

防災訓練実施

9月15日、地震発生を想定した防災訓練が埼玉キャンパスにおいて実施された。緊急事態宣言の実施中であったことから今年も学生の参加は見送

られ、一部の担当教職員のみが参加。訓練内容についても三密を避ける内容に絞って行われた。朝9時、宮代町内で震度6強の揺れを観測したとの想定でシェイクアウト訓練が行われ、参加者全員が一斉に机の下に隠

れるなど身を守る行動をとった。続いて校内一斉放送により避難指示が出されると、全員が避難場所のグラウンドへと移動し整列した。その後、一部の職員により消火器を使用した初期消火訓練も実施された。



避難指示発令後、参加者全員が避難開始

人事異動

- 【任用】(9月1日付)
 - ▲上原嘉宏助手(工業技術博物館)
- 【昇任】(10月1日付)
 - ◆芳賀健准教授(応用化学科) ↓ 教授に昇任
 - ◆大宮望准教授(情報メディア工学科) ↓ 教授に昇任
 - ◆木下芳郎准教授(建築学科) ↓ 教授に昇任
 - ◆樋口佳樹准教授(建築学科) ↓ 教授に昇任
- 【任命】(10月1日付)
 - ◆基幹工学部電気電子通信工学科長 上野貴博教授
 - ◆先進工学部情報メディア工学科長 新井啓之教授
 - ◆建築学部建築学科長 佐々木誠教授
 - ◆共通教育学群群長 佐藤杉弥教授
 - ◆工学部電気電子工学科長 上野貴博教授
 - ◆工学部ものづくり環境学科長 丹澤祥晃教授
 - ◆工学部情報工学科長 新井啓之教授
 - ◆工学部建築学科長 佐々木誠教授
 - ◆工学部生活環境デザイン学科長 足立真教授
 - ◆工学部環境共生システム学専攻長 伴雅人教授
 - ◆工学部機械システム工学専攻長 浦川禎之



宮代町と社会福祉協議会では、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品等を企業や個人から集め、食べ物に困っている人へ無償で配布する「フードドライブ」を開始!

イブ事業一を実施していただきます。頂いたけれど使わない! 買いたけすぎて余ってしまった! と自宅に眠っている物品がありましたら、ぜひご寄付をお願いします。

◆ボランティア募集◆ 配布物を小分けにしたり、当日の受け渡しをして頂くボランティアさんを募集中! 問・町社会福祉協議会 32・8199まで

- ◆基幹工学部電気電子通信工学科長 上野貴博教授
- ◆先進工学部情報メディア工学科長 新井啓之教授
- ◆建築学部建築学科長 佐々木誠教授
- ◆共通教育学群群長 佐藤杉弥教授
- ◆工学部電気電子工学科長 上野貴博教授
- ◆工学部ものづくり環境学科長 丹澤祥晃教授
- ◆工学部情報工学科長 新井啓之教授
- ◆工学部建築学科長 佐々木誠教授
- ◆工学部生活環境デザイン学科長 足立真教授
- ◆工学部環境共生システム学専攻長 伴雅人教授
- ◆工学部機械システム工学専攻長 浦川禎之
- ◆留學生入試課長・総務部付課長兼務 川島信也
- ◆学生相談室長 川合耕一郎
- ◆源田郁絵留學生別科事務課職員・留學生入試課・留學生別科事務課業務
- 【解任】(9月30日付)
 - ◆工学部研究科電子情報メディア工学専攻長 上野貴博教授
 - ◆工学部研究科電子情報メディア工学専攻長 平栗健史教授
 - ◆教務部長補佐 木許雅則准教授
 - ◆教務部長補佐 伊藤大輔准教授
 - ◆学生支援部長補佐 小山将史准教授
 - ◆学生支援部長補佐 松浦隆文准教授

日本工業大学 公式インスタグラム